

強風に伴う農作物管理対策について

気象災害対策H29-1
平成29年4月17日
農林総合研究センター

I 気象概況

4月17日5時32分金沢地方気象台発表の「高波と強風に関する石川県気象情報 第1号」によると、急速に発達しながら日本海を進む低気圧の影響で、17日夜のはじめ頃から18日にかけて海上を中心に非常に強い風が吹く恐れがあります。

今後の気象情報に十分留意し、被害防止対策に万全を期して下さい。

II 農作物の管理対策

1 水稻

強風に備えてゆるんだハウスバンドを締め直すなど育苗ハウスの点検・補強を行って下さい。また、強風が治まった後以下の対策を講じて下さい。

(1) 育苗ハウスの苗

- ① ハウスのビニールが破損した場合は、速やかに交換・補修する。補修までの間は、ラブリットや寒冷紗等により苗を被覆し、損傷を防止する。ビニールを用いる場合はトンネル状態とし、直接、苗に被覆することは避ける。
- ② 育苗箱が過乾燥や過湿とならないよう、水管理には特に留意し、窒素の追肥は回復状況をみて施用の可否を判断する。

(2) 出芽中の苗

出芽途中の苗はハウスビニールの補修までの間、出芽器の加温器を切り、育苗ハウスへの搬出は控える。ただし、芽が2cm程度伸びた場合は、育苗ハウスに並べ、ラブリット及び寒冷紗等で苗を被覆し、補修又はビニールを張るまでの間、苗の損傷を防止する。

ただし、気温の上昇が懸念される場合は、ヤケ苗にも注意する。

(3) 催芽粃

催芽した粃は、屋外の日陰等、水温が10℃以下となる場所で浸漬し、ハウスの補修が終えるまで播種を控える。ただし、水の入替えはこまめに行い10日間を限度とする。

2 野菜・花き

(1) 施設野菜

- ① 強風に備えてゆるんだハウスバンドを締め直すなどハウスの点検・補強を行う。施設に被害があった場合、育苗及び栽培作物の被害程度、回復の可能性を見極めて、復旧可能なハウスにおいては、パイプの復元・補強を図り、ビニールの張り替え・補修を行う。
- ② 育苗施設に被害を受けた場合は、苗を速やかに無傷のハウスに移動する。栽培作物は誘引支柱を矯正するとともに、脱水症がみられる場合は苗とともに灌水し、殺菌剤と液肥の混合散布を実施する。数日後回復をみて、被害花(果)や茎頂の切除を行い、正常(花)果や側枝等の生育促進を図る。

(2) 露地野菜

- ① 定植を間近に控えたほ場では、定植時期を遅らせる。
- ② 既に定植したほ場でトンネル及びマルチ等フィルムがまくれた場合、速やかに復元する。
- ③ 生育初期の作物においては、苗を直立に矯正し、殺菌剤及び液肥、尿素等の速効性肥料を施用する。

3 果樹

(1) 果樹ハウス

- ① ゆるんだハウスバンドを締め直すなどビニールを張り直す。特に妻部を中心にパッカー等でビニールをしっかりと固定する。
- ② パイプの接合部にゆるみがないか点検し、ゆるんでいる場合はしっかりと固定する。

(2) 果樹棚等

- ① 果樹棚は「あおり」による棚面の上下動を少なくすると被害は少ないので、架線に添え木で補強する。また、架線はできるだけ強く張り直す。
- ② 枝幹等が架線にしっかりと固定されているか点検する。
- ③ わい性リンゴの1本支柱の倒伏等の被害があった場合は行、列ともワイヤーで決線固定し、支柱を元に戻し、樹を支柱に結び直す。またトレリスは張り直す。
- ④ 防風ネット等防風施設を点検し、必要に応じて補強する。

(3) 枝折れ等の処置

園を巡視し、枝折れ等被害状況を確認して、対策の必要な場合は所用の処置を実施する。

(4) ハウスぶどうの花振り防止

ハウス「デラウェア」では、過去にハウスビニールが破損したため樹が強風を受け、花振りが発生した例があることから、ハウスビニールが破損した場合はG A処理液にフルメット液剤2～3 ppmを混用する。

(5) 殺菌剤の散布

葉や新梢が傷ついた場合、地域の防除暦等に準じて、保護と防除を兼ねて速やかに殺菌剤を散布する。

4 畜産

- ① 畜舎内に風が吹きこまないように、窓、戸等の損傷箇所は速やかに補修する。
- ② 暴風時は風向きを考慮し畜舎の開口部を最小にして、換気扇を稼働させて換気を行う。
- ③ 畜舎への雨水の侵入を防ぎ、配合飼料・乾草等は濡れて変質しないよう安全な場所に移動する。
- ④ 停電によって搾乳ラインやバルククーラーが止まることが予想される場合は、緊急時の発電機の確保を検討しておく。

高波と強風に関する石川県気象情報 第1号

平成29年4月17日05時32分 金沢地方気象台発表

(見出し)

石川県では、17日夜のはじめ頃から18日朝にかけて海上を中心に非常に強い風が吹き、18日朝から昼前にかけて5メートル以上の高波となるでしょう。高波に警戒し、強風に注意してください。

(本文)

[要因]

前線を伴った低気圧が黄海にあって北東に進んでいます。今後急速に発達しながら、18日にかけて日本海を北東に進む見込みです。このため、石川県は海上を中心に非常に強い風が吹き、しけとなるでしょう。

[波の予想]

石川県では、17日夜遅くから波が高くなり、18日朝から昼前にかけては5メートル以上の高波となる所があるでしょう。

18日に予想される波の高さは、

加賀 4メートル

能登 5メートル

の見込みです。

[風の予想]

石川県では、17日夕方から東または南東の風が強くなり、17日夜のはじめ頃から18日朝にかけて海上を中心に南または南西の風が非常に強く吹く所があるでしょう。

18日にかけて予想される最大風速(最大瞬間風速)は、

加賀 陸上 15メートル(30メートル)

海上 20メートル(30メートル)

能登 陸上 15メートル(30メートル)

海上 20メートル(30メートル)

の見込みです。

[防災事項]

石川県では、高波に警戒し、強風に注意してください。また、融雪による土砂災害や落雷、突風、空気の乾燥による火の取り扱い、なだれにも注意してください。

[特記事項]

今後、気象台が発表する警報や注意報、気象情報に留意してください。

[情報発表の予定]

次の「高波と強風に関する石川県気象情報」は、17日17時頃に発表する予定です。